

# 倉敷市スポーツ章（スポーツ振興功労者）

（規則第3条第2項第1号に該当）

（氏名については敬称略）

No.	氏名	推薦団体	主な功績
1	おおた ひろあき <b>太田 博朗</b>	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 剣道部	昭和57年から少年剣道の指導に携わる。平成29年度から令和3年度まで倉敷市スポーツ振興協会剣道部部長を務め、倉敷市少年剣道錬成大会、倉敷市社会人剣道大会、倉敷市少年剣道錬成会、玉島剣道大会など、多くの行事の企画や運営に、中心となり取り組んだ。 また、玉島剣道連盟でも、現在まで30年以上、常任理事を務めている。 長年にわたる青少年の健全育成に主眼を置いた少年剣道への指導は、倉敷市の剣道競技の普及・発展に大きく貢献している。
2	ふじた てるふみ <b>藤田 輝文</b>	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 バレーボール部	昭和60年頃から（一財）倉敷市体育協会〔※〕の倉敷地区の役員となり、現在まで40年近く一般の部を中心に活動している。 所属しているバレーボール部では、部の中心として、倉敷市民スポーツフェスティバルをはじめとする多くの大会で実行委員を務めてきたほか、ジュニア世代を中心とする倉敷市の強化事業の運営にも積極的に参加している。 倉敷市のバレーボール競技の発展と裾野の拡大に尽力した功績は顕著である。

〔※〕現（公財）倉敷市スポーツ振興協会